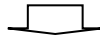


生徒指導推進計画

<p><生徒指導の方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の学校教育目標を達成するべく、子ども達の実態を熟慮し、重点目標及び具体的方策を考えていく。 ・道徳教育の充実を図り、児童の道徳的実践力を高める。 ・全職員で意識統一をし、日常生活や委員会活動、学級活動、道徳の時間の学習などさまざまな場面で指導、目標設定と評価を行う。 ・生活指導上課題を抱える児童への対応を組織的に行う。 ・児童の自己有用感を高めるとともに、学校生活を自分たちでより良くしていこうとする態度とスキルを育てる。 	<p><学校教育目標></p> <p>～チャレンジ☆やればできる!～ 目標をめざし 仲間と協力し 努力を楽しむ子の育成</p> <p><年間生徒指導目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己有用感をもち、人とのよりよいかかわりをつくり、自分たちの生活を自分たちの手でよりよくすることのできる子どもの育成 <p style="text-align: center;"><u>積極的生徒指導の推進</u></p>	<p><児童の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動的で明るい児童が多い。自己肯定感の低さが課題であったが、向上傾向がみられる。 ・相手の気持ちを想像すること、自分の思いを適切に表現することなどについて、苦手な児童が各学年にいる。また、話を聞くこと、姿勢の保持、基本的な生活習慣など、様々な面で課題があり、支援を要する児童が複数いる。 ・授業中と休憩時間のメリハリ、並んで静かに移動・集合、無言掃除など、できるようになってきている。 ・コロナの影響もあり、元気な挨拶の声が出にくくなっている。先生や見守り隊など、特定の人に対するあいさつはするが、面識のない方や友だち同士の挨拶はできていない。 ・いじめや暴力行為、落書きなどの問題行動の発生があった。特別な指導の機会を通じ、保護者や SC・SSW 等と連携し、本人の成長を見守り、成長を促す取組を行っている。
--	--	---



自己指導能力の育成 (生徒指導の三機能を生かして)

<p style="text-align: center;">自己決定の場を与える</p> <p>ルールやマナーの指導を徹底し、それを判断基準として、具体的場面で自分の行動を自分で決定させる場を与えることで、自分の行動を自分でコントロールできる力を育成する。</p>	<p style="text-align: center;">自己存在感を与える</p> <p>自分を肯定的にとらえ、自分の存在に自信をもち (自己有用感)、前向きにあらゆる活動に取り組むことのできる子を育成する。</p>	<p style="text-align: center;">共感的人間関係の育成</p> <p>自分のことばかり考えるのではなく、常に、周りの人の気持ち、自分の置かれた立場、高学年では学校全体のことまで考えて、仲間とともに前向きに行動できる子を育成する。</p>
--	--	---



<p>○規範意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用の生徒指導規程を作成し、常にチェックをさせ、きまりを守れていることに対して評価をしていく。 ・《無言集合》《5分前行動》 ・何のためにきまりがあるか、なぜマナーを大切にしなければならないのかについて考えさせ、自己決定の際の判断基準を明確にもたせる。 ・実態に応じた月目標を設定し、児童会企画委員会を中心に、児童が毎日評価を行っていく体制をつくる。 <p>○問題解決能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題行動が起こった際、どうしてそうした行動にいたったのかを、児童自身にしっかりと考えさせる指導を行う。 	<p>○自己有用感の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級暮会等振り返りの際、互いの頑張りやいいところを評価しあう機会を設ける。 ・グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング等の活動を取り入れ、自分を見つめ、他者の中での自己の存在を感じることができるようになる。 ・全職員で児童の行動をしっかりと評価し、価値づける。(学級通信の積極的活用) ・《無言清掃》 ・集中して清掃に取り組み、責任を果たすことで、達成感や自己有用感の向上を図る。 <p>○自治活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会、係活動の充実を図る。 ・特に高学年において、自主的な課題発見・解決を体験させる。 <p>○学校行事等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標を持ち、目標に向かうために具体的な行動をし、その後振り返るという活動を大切にする。 	<p>○人権意識の醸成</p> <p style="text-align: center;">よりよい人間関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた明朗な「はい」の返事、「レベル 5」のあいさつを合言葉に意識を高めるとともに、できたことに対して適切に評価を行っていく。《あいさつ名人》 ・道徳教育の充実を図り、相手の気持ちを考えた言動のできる実践力を育てるための授業改善を行う。 ・上学年として下学年とかわる場面を仕組み、相手のこと、全体のことを考えた行動について考えさせる。 ・《縦割り班活動の充実》 ・学習規律を徹底し、相手を意識した話し方、聞き方のモデルを示し、できたことに対して適切な評価を行っていく。 ・《姿勢、4拍礼、返事》
---	---	--

明確化

- ・職員の共通理解 (複数対応、通信の交流、生徒指導暮会の充実)
- ・継続した取り組み
- ・マネジメントサイクルを活用した評価
- ・教育相談体制の確立 (スクールカウンセラーの活用)

生徒指導体制の確立 (組織化)

- ・保小中の連携
- ・関係機関との連携
- ・保護者、地域との連携および情報発信 (通信、HP 等)

連携